

2023 年秋季低温工学・超電導学会研究発表会特別セッション

「小型核融合に向けた課題と展望」

日時：12月6日(水)13:15～15:15

場所：A会場(国際貿易ビル 10F 国際会議室)

※本セッションのみで、かつオンライン参加の場合は研究発表会参加登録なしにご視聴いただけます。

外部オンライン参加をご希望の方は、メールアドレスを登録いたしますので企画委員会までご連絡をお願いします。

連絡先:cssjplan@csj.or.jp

プログラム：

13:15-13:20

はじめに 山田 穰 (中部大)

(小型核融合用 REBCO 導体とマグネットの実用化に関する調査研究会主査)

13:20-13:45

1. 核融合原型炉設計の現状と高磁場コイルを仮定した場合の炉設計パラメータ(25分質疑込み)

量子科学技術研究開発機構 宇藤 裕康

13:45-14:10

2. 核融合炉マグネット用大電流高温超伝導導体の開発状況と課題(25分質疑込み)

核融合科学研究所 柳 長門

14:10-14:20

3. 最新情報1 米国(10分)

北海道大学 野口 聡

14:20-14:40

4. 最新情報2 欧州日中(10分×2)

九州大学 宮崎 寛史

岡山大学 植田浩史

14:40-15:10

5. 会場討論 “高温超電導化でやるべきこと”(30分)

司会 植田浩史(岡山大学)

15:10-15:15

閉会 植田浩史(岡山大)

(小型核融合用 REBCO 導体とマグネットの実用化に関する調査研究会副査)